

平成23年4月

理事長 殿
病院長 殿

社団法人 全日本病院協会
会長 西澤 寛俊
医療機関トップマネジメント研修事業
担当理事 徳田 禎久

「第6回 医療機関トップマネジメント研修コース」参加のご案内

日頃より、全日本病院協会の活動にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。

さて、当協会では、平成18年度より、会員病院の理事長・院長の方、あるいは将来の理事長・院長候補の方を対象にした「医療機関トップマネジメント研修コース」を開講いたしております。

本研修コースは、当協会が経済産業省の委託事業において開発したトップマネジャー向けの研修用教材を使用し、主として戦略的・効率的な医療経営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指すものです。

本研修の大きな特徴は、テーマに関して全般的な講義を受けた後、参加者がグループワークで解決方法を考えるケーススタディ形式を行っていることにあります。

講師陣には、ケース作成にかかわり当協会の各委員会でも活動され、医療現場の実情を熟知されている方、経営についての専門家をお迎えいたしております。

第1回から第5回までに、全国各地から計177名のご参加をいただきましたが、医療界では数少ないグループワークによるケーススタディ形式の研修が大変好評でありました。また、各自が自分の考えをまとめる方法を学ぶと共に、他の参加者の考え方や経験を知ることにも可能となり、管理者としての経験の浅い方にも有意義な研修であったとのご感想をいただいております。

つきましては、第6回研修コースについて、別添パンフレットのとおり企画いたしましたのでご案内申し上げます。是非ともパンフレットをご高覧いただき、ご参加を検討いただきたくお願い申し上げます。

なお、参加申込は平成23年5月31日（火）までとなっております。

本コース開始日（第1単位）は平成23年7月23日（土）・24日（日）です。

※受講料金は（社）全日本病院協会の会員・非会員とも同一です。

【問合せ先・申込先】

社団法人 全日本病院協会 事務局

〒101-8378 東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル7階

電 話 03-3234-5165

F A X 03-3237-9366

ホームページ <http://www.ajha.or.jp/>



受講のご案内

第6回 医療機関トップマネジメント研修コース 参加のお勧め

社団法人 全日本病院協会

会長 西澤寛俊

日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠に有難うございます。

まず、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により被災された方へ心からお見舞い申し上げます。当協会としても被災地の復興に向けて最大限の支援を行う所存です。

さて、2010年度診療報酬改定において、10年ぶりの診療報酬全体のプラス改定が行われました。しかし、病院数の減少はとどまらず、赤字経営を強いられる病院も多くあり、病院を取り巻く環境は未だ厳しい状況にあります。

また、社会の医療提供に対する要求は高度化・多様化しており、我々は環境変化の有無に関わらず、これまで以上に質向上、効率化を図り公共性の高いサービス業として事業を継続していく必要があります。そのためには、施設運営に際して医療実務（専門技術）と経営実務（管理技術）双方を兼ね備えたトップマネジャーの存在が不可欠ですが、医学教育・卒後研修の中に経営学並びにその実務習得は含まれておりません。

全日本病院協会では、平成17年度から経済産業省の「医療経営人材育成事業」に参画し、研修用教材作成を行い、平成18年度より、これを利用した医療界では数少ないケーススタディによる研修会を開催致しております。

研修では、施設運営の際のモデルとなるような民間病院の実例を中心に、効率的、戦略的な医療運営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指しグループワークを中心に行っております。現在のトップマネジャーや次世代を担う理事長・院長候補の方々が全国からご参加され、普段では聞くことのできない各施設の実態に関する意見交換の場ともなり、受講者間の有意義な交流も行われております。

系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成を目指し、今年度も引き続き「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催致します。

各病院からの積極的なご参加をお願い申し上げます。

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第6回(平成23年度)

医療機関 トップマネジメント 研修コース

受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方

開講期間 平成23年7月～11月
全4単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00

受講料金 全4単位 300,000円(食事代・懇親会費含む)

受講定員 40名

会場 社団法人 全日本病院協会
〒101-8378 東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル
TEL.03-3234-5165

申込締切 平成23年5月31日(火)



社団法人 全日本病院協会



社団法人 全日本病院協会



Program

●講師・講義内容は変更になる場合があります。

第1単位 7月23日(土) 13:00~21:00 24日(日) 9:00~15:00

(第1日目) オリエンテーション、医療概論、経営学概論

●講師
 飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
 李 済民 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻

■概要
 <医療概論>
 医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度(医療提供体制と医療保険制度)、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。
 <オリエンテーション、経営学概論>
 ・ケーススタディー方法論とケース研修の目的を説明する。
 ・経営概論
 医療事業において必要とされる経営学の基礎的用語・概念を中心に解説する。SWOT分析による競合相手の位置付けや、マーケティングの代表的手法を紹介する。

第1単位 1日目	医療概論	講義
	ケーススタディの説明	説明
	経営学概論	講義
	懇親会	

(第2日目) 広報・ブランド管理、医療の質評価、DPCの活用

●講師
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
 <医療機関の広報戦略>
 医療機関に適応しうる広報戦略について講義。対象は対顧客用のブランド構築について事例を交えて説明。
 <医療の質評価、DPCの活用>
 急性期病院の包括評価であるDPCでは、標準コードを使用し、電子的に、医療内容を含む情報が利用可能となる。これを用いた医療の質評価の方法について学ぶ。

第1単位 2日目	広報・ブランド管理	講義 グループワーク 発表討議
	医療の質評価・DPCの活用	講義 グループワーク 発表討議

第2単位 9月10日(土) 13:00~21:00 11日(日) 9:00~15:00

(第1日目) DPC財務への適応、財務管理、管理会計(基礎)

●講師
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授
 石井 孝宜 公認会計士

■概要
 <DPC財務への適応>
 DPCの導入により、医療機関の機能分化、外来を含むバスの改訂、検査の絞り込み、ジェネリック薬の導入など医療マネジメント方法は大きく変わった。これについて概観し、課題を明らかにする。
 <財務管理、管理会計(基礎)>
 財務管理に関する基本的な考え方を解説した後、病院における管理会計の基本となる病院会計準則について説明するとともに基本的な病院経営指標の具体的な算式や理解の仕方を明確にする。また、開示されている様々な病院開設主体及び病院の財務情報を確認することによりトップマネジメントとして認識すべき財務の視点を習得する。

■演習
 <経営指標実例の分析・評価>
 病院及びその開設主体において必要とされる経営指標の内、機能性、収益性、生産性、財政状態について理解を深めるため実在する具体例や厚労省の病院経営指標を使用し、実務的な活用を可能にするとともに現時点の病院経営評価に役立てられるように解説する。

第2単位 1日目	DPC財務への適応	講義 グループワーク 発表討議
	財務管理・管理会計	講義 演習 質疑応答

(第2日目) 人事管理、管理会計(応用)

●講師
 池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要
 <人事管理>
 人事管理の普遍的課題について解説した後、職員ほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。そのうえで、人事管理システムを導入した病院のケースについて演習、講評を行う。
 <管理会計>
 管理会計の基本的な考え方を解説した後、病院において診療科別管理会計を導入する際の課題について検討する。

■演習
 <人事管理>
 ・自院における人事管理を踏まえて、ケースにおける人事管理を検討する。
 <管理会計>
 ・管理会計の結果がどのように実際の管理に反映できるかを検討する。

第2単位 2日目	人事管理・管理会計	講義 グループワーク 発表討議
-------------	-----------	-----------------------

第3単位 10月8日(土) 13:00~21:00 9日(日) 9:00~15:00

(第1日目) 慢性期包括評価、医療連携

●講師
 池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要
 <慢性期包括評価>
 包括評価の導入の背景、分類基準の開発、療養病床としての対応について系統的に解説する。
 <医療連携>
 病院における連携について、講師が行ってきた実態調査の結果を踏まえて現状とその課題を解説後、連携が絶対条件となる地域医療支援病院をケースとして取り上げ、演習、講評を行う。

■演習
 <慢性期包括評価>
 ・包括評価導入に伴う区分構成の変化、モニター、人員配置、収支の変化
 ・病床転換や連携の新しいあり方
 <医療連携>
 ・自院における連携を踏まえて、ケースにおける連携あり方を検討
 ・連携を進めるうえでのトップの役割

第3単位 1日目	慢性期包括評価	講義 グループワーク 発表討議
	医療連携	講義 グループワーク 発表討議

(第2日目) 安全管理、リスク管理

●講師
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
 <安全管理、リスク管理>
 医療安全は医療の質の最重要の構成要素である。医療安全の考え方を明らかにし、具体的な事例を基にした対応策の検討、院内での体制づくりの方法について検討する。

第3単位 2日目	安全管理	講義 グループワーク 発表討議
	リスク管理	講義 グループワーク 発表討議

第4単位 11月12日(土) 13:00~21:00 13日(日) 9:00~15:00

(第1日目) BSC・医療における総合的質経営(TQM)基礎

●講師
 伊藤 一 小樽商科大学商学部
 佐藤 剛 グロービス経営大学院 教授
 飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長

■概要
 <BSCの解説>
 BSCの概要を説明し、中規模病院でのBSC成功要因を考察する。
 ・BSCの成功事例の検討
 <医療における総合的質経営(基礎)>
 医療への総合的質経営(TQM)の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。理念・方針、質管理原論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理(Quality Management)の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等

■演習
 <BSC>
 ・BSCの実施方法の習得
 ・BSCの設計
 ・運用と進捗状況の把握
 ・職員満足度調査の効果
 ・顧客満足度調査の設計と実施
 <医療における総合的質経営(基礎)>
 ・理念・方針の徹底
 ・なぜ質か
 ・改善の必要性
 ・トップの役割
 ・改善活動の組織化
 ・推進方法検討
 ・組織の活性化
 ・(品)質管理
 ・総合的質経営

第4単位 1日目	BSC	講義 グループワーク 発表討議
	TQM基礎	講義 グループワーク 発表討議

(第2日目) 医療における総合的質経営(TQM)応用

●講師
 河野 宏和 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授
 飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長

■概要
 <医療における総合的質経営(応用)>
 医療への総合的質経営(TQM)の導入事例(ケース・スタディ)GWと発表/質疑

第4単位 2日目	TQM応用	講義 グループワーク 発表討議
-------------	-------	-----------------------

第5回(平成22年度)

医療機関トップマネジメント研修コース

受講者の声



千葉市立青葉病院院長
高橋 長裕

診療局長、副院長と病院管理には結構長くかかわっており、その間幾つかの研修を受けたことはありましたが、院長職に就いて、それまでのいわば実務的マネジメントだけではなく、全体の舵取りを担当するには、病院運営全般に関する系統的な勉強が必要と考えて、このコースを受講しました。院長の個人的な勉強のために、受講料を公費扱いにするのは少々気がひけたために自分で負担しましたが、十分に“モチが取れる”内容でした。公立病院にありますと、とかくお付き合いの範囲に限られてしまいますが、このコースでは異なる経営母体の、単科の病院から大病院まで様々な施設の先生方から色々な情報が得られ、医療全般についての視野が随分広がり、貴重な財産になりました。本研修で学んだことを色々活用しながら、地域医療の充実に多少なりとも貢献できればと思っています。



特定医療法人祐愛会
織田病院
院長
西山 雅則

院長になってからも、上に理事長がいるせいか病院のマネジメントは理事長のサブ的感觉で行っており、従来通り診療に忙殺される日々を送っていました。それまで何度かマネジメントに関する研修会に参加したことはありましたが、今回のように系統だった研修は初めてでした。グループワークが実際のケースに関してのものであったこともあり、講義も含めプログラムは非常に実践的でした。何より優秀な講師の先生達の情熱と受講者の熱情が相まって非常にためになるかつ充実した研修で、病院運営や管理への意識を変革することが出来ました。マネジメントに携わるものにとって、一度はこのように体系的にプログラムされた研修を受けることが必要だと思えます。



医療法人博悠会
中村(哲)産婦人科・内科
副理事長
中村 佐知子

医療法人の副理事長に就任してから数年経つのですが、経営にはほとんどタッチせず、一産婦人科医として臨床に追われる毎日でした。次期理事長として今後のことを考えると、ふと不安になっている際、第5回トップマネジメント研修会に参加する機会を得ました。講義はとても系統だった洗練されたもので、グループワークを中心とした研修では、色々な立場の先生方の考え、意見を伺い、討論し、毎回時間が足りないくらいの濃厚な大変有意義な時間を過ごすことができました。この研修で、病院経営、管理の必要な事を学ばせていただいたと同時にトップとしての強い信念、行動力の必要性を痛感し、相談しあえる先生方との出会い、交流に感謝いたします。



医療法人
中江病院
副院長
枝村 正人

このような研修に参加するのは2回目でした。最初も週末を利用して東京に集まり、講義形式で半年間勉強するというものでしたが、日曜の午後ともなると睡魔が全てを支配し、手元には理解していない資料と修了証書が残りました。その経験から受講者が主人公になるグループワークが中心の本研修に参加しました。結果は期待以上で、その中でも私だけ?の2点を挙げさせてもらいます。一つ、悩んでいるのは私だけでない実感でした。お陰様でトップマネジメントでの孤独感がやや解消されました。二つ、どうしたら人前で上手く話せるかを考えるようになった。自分の考えを伝えられなければ、自己紹介や発表の時間はみんなの無駄になってしまうことに気がきました。今となってはこちらの熱意と感度ももっと高ければ、もっと成果が得られたのではと後悔しています。